



最終回

総務管理課
課長 金山 淳生



病院正面側の外構環境が整いました

令和7年12月に外構工事が終了しました。構内メイン道路は病院に向けて直線的に配置することで、来院される皆さまを正面エントランスに迷わずに案内できると思います。また、大きな庇を設けておりますので、車両からの乗り降りの際には、以前のように雨に濡れる心配もない、ゆとりのあるスペースを確保しております。公共交通バスも庇内の専用スペースに横付けされますので、院内への移動距離も最短となり安全になりました。障害がある方、妊娠婦、怪我をしている方など、車の駐車後の乗り降りに広いスペースが必要とされる方のため、思いやり駐車場を病院正面に隣接して新たに整備しました。



病院全体写真

ヘリポートの供用が再開されました

建て替え工事に伴い、ヘリポートを閉鎖しておりましたが、復元改修を施し利用を始めています。新本館棟が近接配置されたことで、ドクターへリ・防災ヘリとの連携がより効率的に行えるようになりました。



本館棟建て替え工事の全ての工程が完了しました

本館棟建て替え工事は、業務を継続すると共に、同じ敷地内で、敷地造成、新本館棟の建設、既存棟の改修、旧本館棟の解体、敷地外構整備を行って進めるという難題を抱えながらの工事でしたが、設計監理者、施工業者、技術支援者など関係された皆さまのご尽力で事故なく安全に全工程を終えることが出来ました。ありがとうございました。

病院玄関の正面緑地には、邑智病院を支援する会と共同でシンボルツリーを植樹しております。まだ若木のイチョウですが、来院される皆さんを新しい本館棟と共に見守りながら成長していくことを願っております。

邑智病院を見守るシンボルツリー

医方久永 (旧本館棟竣工記念碑題字)

令和4年11月から3年と半年をまたぐ工事期間中、ご来院される皆さんには度々ご不便をおかけしましたが、診療を止めることなく工事を続けることができました。温かいご協力をいただきありがとうございました。



振り返りますと、平成29年2月に本館棟の建て替えを行つことを病院管理者が表明して以降、関係各所との尽きることのない調整において、病院の役割と施設整備の方針など「本館棟建て替え基本構想」に示された内容を常に心に留め、前進を続けられた原動力は、昭和58年に本館棟の建設に関係された全ての方々の想いを感じていたからだと思います。

昨年解体されるまで地域医療を全力で守り支えた旧本館棟が勇退いたしました。新たな本館棟がその理念を受け継いで、永遠に発展し地域の皆さまの心身が末永く健全であることを祈念します。『本館棟建て替え通信』はこれが最終回です。



【令和5年3月】

診療を継続しながら建て替え工事を進める必要があるため、埋設配管等の詳細な調査を行いインフラ設備の仮設切り替え作業を丁寧に進めました。

旧本館棟裏側の建設予定地に重機が入り基礎工事が始まります。



【令和5年12月】

新本館棟は2階部分まで確認できるようになりました。奥には重い建設資材を運ぶことが可能な紅白色のクローラークレーンのほか合計3台のクレーンがフル稼働しながら躯体を立ち上げています。



【令和6年9月】

新本館棟は4階まで立ち上がり内装や電気・機械などの設備も整備され、院内が明るく快適な療養環境に仕上がってきました。

屋上には開放的なリハビリ庭園がお披露目し、10月のオープンに向けて引越しやリハーサルが計画されました。



【令和7年12月】

旧本館棟が解体された跡地に、正面エントランス、乗降場、駐車場などの外構が整備されグランドオープンを迎えることができました。